

# 平成29年度の研究

## < 研究主題 >

自分の考えをもち、学び合う力を伸ばす授業づくり（算数科）  
～わかる楽しさを実感できる学び合いのある学習～  
～ 目的意識を持った主体的活動への支援（支援学級）～

### < 主題設定の理由 >

平成26～27年度は、算数的活動の効果的な指導を通して、主体的に考える子どもの育成を目指してきた。その成果として、児童の学習に対する取り組みが主体的となり、基礎基本の定着を図ることができてきた。

一方、課題として、話し合い活動に目的意識を持たせて取り組むことや、児童に考えをもたせる手立ての工夫や、児童の考えを深めていくための手立てが不十分であった。

そこで、平成28年度から新たな研究主題を設定し、「わかる楽しさ」を感じられる授業を構成することにより、子ども自らが学ぼうとする意欲を高め、基礎基本の更なる定着を図ることや、自分の考えをもち、表現できる力を伸ばす授業作りを進めてきた。

1年次は、視点1「考えをもたせる手立て」を中心に、課題設定の工夫や学習意欲を高める教材・教具の工夫を図ってきた。課題設定を工夫し既習事項を確認することにより、問題解決への見通しをもち、自分の考えをもつことができるように取り組んできた。また、視点2「学び合う力を高める手立て」として、授業の中に伝え合う場を設定し、自分の考えを伝え合うために話し方や聞き方など、学習ルールの定着を図ってきた。

今年度は、「できる楽しさ」と「わかる喜び」を実感できる授業を目指していくために、話し合い活動を充実させたい。自分の考えを整理して伝える、友達の考えを聞く（教わる）、違いに気づき様々な考えを受け入れる中で、「できるかも」が「できた」に変容する過程を大切にしていきたい。子どもたちが学んだことを生かし、「できる」「わかる」が実感できる授業づくりを目指していきたい。

## < 研究仮説 >

自分の考えをもって伝え合うことで、  
主体的に学ぶ力を伸ばすことができるのではないかと。

### 1. 年次計画（2年次の2年目）

1年次（平成28年度）

算数科

- 研究の全体計画
- 学習指導の工夫
- 実践記録・資料の蓄積

2年次（平成29年度）

算数科

- 仮説の検証
- 学習指導の工夫
- 教育実践発表会の開催
- 実践記録・資料の蓄積
- 研究のまとめ

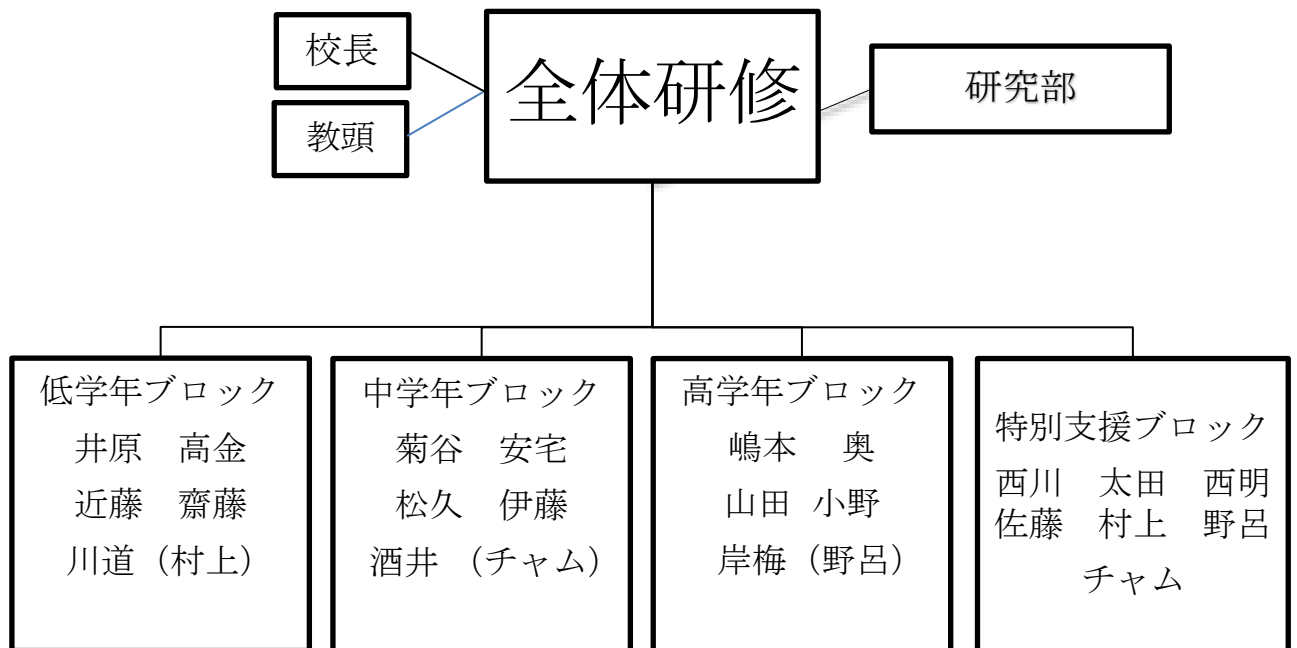
## 2. 今年度の研究

- (1) 算数科における学び合う力を伸ばすための実践研究
- (2) 児童の実態に応じた学習指導の工夫

## 3. 研究の方法

- (1) 研究の仮説を具現化するための理論研究
- (2) 研究授業による検証
  - ① 全校研・ブロック研 (ブロック1本ずつ)
  - ② 事前研及び事後研
- (3) 児童の実態把握
- (4) 実技研修

## 4. 研究組織



## 5. 年間計画

| 研修日 |         |   | 研修内容  |                             | 備考        |
|-----|---------|---|-------|-----------------------------|-----------|
| 4   | 3～<br>4 |   | 分掌部会  | 研究方針・業務分担 検討                | ※基礎作り期間   |
|     | 20      | 木 | 全体研修  | 研究方針・年間計画の提案                |           |
| 5   | 9       | 火 | 全体研修  | 共同研究（本年度）と実践発表会についての提案・検討   |           |
| 6   | 6       | 火 | 部会研修  | 研究内容の確認・ブロック交流（児童の実態・学級の取組） | ↓         |
|     | 19      | 月 | 部会交流  | ブロック交流（授業者決定・授業内容検討）        |           |
|     | 26      | 月 | 提案授業  | 今年度の重点にかかわる授業公開             |           |
|     |         |   | 全体研修  | 共同研究に関わる意見交流・確認             |           |
| 7   | 18      | 火 | 部会研修  | ブロック交流（部会研・全体研の調整）          |           |
| 8   | 21      | 月 | 部会研修  | ブロック交流（部会研に関わる指導案検討）        | ※第Ⅰ期授業    |
|     | 28      | 月 | 全体研修  | 高学年部会授業研・事後研                | （全体研・部会研） |
| 9   | 11      | 月 | 全体研修  | 中学年部会授業研・事後研                | ↓         |
|     | 19      | 火 | 全体研修  | 低学年部会授業研・事後研                |           |
|     | 25      | 月 | 全体研修  | 特別支援部会授業研・事後研               |           |
| 10  | 16      | 月 | 部会研修  | 実践発表会の取組（指導案検討・プレ研など）       | ※第Ⅱ期授業    |
|     | 23      | 月 | 部会研修  | 実践発表会の取組（指導案検討・プレ研など）       | （実践発表会    |
|     | 30      | 月 | 全体研修  | 実践発表会の取組（事前打ち合わせ）           | 各学年1学級公開） |
| 11  | 1       | 水 | 全体研修  | 実践発表会の取組（前日会場準備）            | ↓         |
|     | 2       | 木 | 実践発表会 | 実践発表会（公開授業・全体会・分科会）         |           |
|     | 13      | 月 | 部会研修  | 実践発表会の授業の反省・まとめ             |           |
|     | 20      | 月 | 全体研修  | 実践発表会の授業の反省・まとめ             |           |
| 1   | 22      | 月 | 実技研修  |                             | ↓         |
|     | 29      | 月 | 部会研修  | ブロック交流（今年度の成果と課題）           |           |
| 2   | 13      | 火 | 部会研修  | ブロック交流（今年度の成果と課題）           | ↓         |
|     | 26      | 月 | 全体研修  | 共同研究に関わる成果と課題、次年度に方向性       |           |
| 3   |         |   |       | 学年ごとにまとめ                    | ↓         |

※全校研及びブロック研の授業は、事後研日の1週間以内前に行う。

（ブロック研の事後研については、ブロック内で相談し決める。）

※研修日は、行事などの関連で日程が変更する場合もある。

※実技研修については、内容が決まり次第日程を決定する。